

# 横查情報月報



横浜市衛生研究所

# 令和2年9月号 目次

## 【検査結果】

海水浴場水質調査結果(令和2年度) .....	1
-------------------------	---

## 【感染症発生動向調査】

感染症発生動向調査報告 8月 .....	3
----------------------	---

## 【情報提供】

衛生研究所WEBページ情報 .....	7
---------------------	---

# 海水浴場水質調査結果(令和2年度)

金沢区の「海の公園」は、市民に親しまれている横浜市で唯一の海水浴場です。5月及び7月に環境省からの通知に基づく水質調査を行った結果を紹介します。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、神奈川県内の海水浴場は開設されていません。また、環境省による全国の「水浴場(開設前)の水質調査結果」のとりまとめは行われませんでした。



## 1 対象施設及び試料

(1) 対象施設: 「海の公園」海水浴場

(2) 採水日: 令和2年5月18日・19日及び7月7日・9日

(3) 試料: 「海の公園」沖3地点(L・M・R)で、1日に2回(午前・午後)採水した海水。

4日間で計24試料。

なお、採水は金沢福祉保健センターが環境創造局及び公益財団法人横浜市緑の協会の協力を得て行いました。

## 2 検査項目

水質評価項目及び参考検査項目を表1に示しました。

表1 検査項目

検査担当	水質評価項目	参考検査項目
福祉保健センター	油膜の有無、透明度	水温、気温、透視度、臭気等
衛生研究所	ふん便性大腸菌群数	腸管出血性大腸菌O157
	化学的酸素要求量(COD)	一般細菌数、pH

## 3 検査方法

令和2年3月30日付け環水大水発第2003273号(環境省水・大気環境局水環境課長通知)「令和2年度水浴に供される公共用水域の水質調査結果の報告について」に基づいて行いました。

## 4 検査結果と判定区分

水質評価項目と参考検査項目の水質検査結果は表2のとおりでした。5月18日・19日の12試料の検査結果及び7月7日・9日の12試料の検査結果を用い、環境省通知で定められた方法で報告値を算出しました。その報告値を水浴場水質判定基準(表3)によって「適(水質AA、水質A)」、「可(水質B、水質C)」、「不適」の5段階に区分しました。

令和2年度は、油膜の有無、透明度及びふん便性大腸菌群数の3項目は「適(水質A)」の基準を満たしていました。化学的酸素要求量(COD)については、5月は「適(水質A)」の基準である「2mg/L以下」を満たしていませんでしたが、7月は「2mg/L以下」を満たしていました。例年、CODは5月が低く7月が高めに推移する年が多い傾向です(図)。今年度は5月の平均値は4.1mg/L、7月の平均値は2.0mg/Lとなり7月が低い結果でした。

令和2年度の判定区分については、5月は「可(水質B)」、7月は「適(水質A)」となりました。なお、昨年令和元年度は5月及び7月ともに「可(水質B)」でした。

表2 令和2年度「海の公園」海水浴場の水質検査結果

検査項目	5月		7月	
	18日	19日	7日	9日
油膜の有無	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*1</sup>
透明度(m)	1.0以上	1.0以上	1.0以上	1.0以上
ふん便性大腸菌群数(個/100mL)	4~12	6~62	28~42	8~150
COD(mg/L)	2.9~4.7	4.0~4.6	1.8~2.2	1.6~2.4
腸管出血性大腸菌O157( /3,000mL)	不検出	—	不検出	—
一般細菌数(cfu/mL) <sup>*2</sup>	8~20	9~39	23~64	15~110
pH	8.4~8.5	8.6~8.6	8.0~8.0	8.0~8.0

\*1:「認められない」、\*2:参考のため検査しており水質基準はありません

表3 令和2年度「海の公園」海水浴場の環境省への報告値及び水浴場水質判定基準

検査項目	環境省への報告値		水浴場水質判定基準				
	5月 (海水浴場開設前)	7月 (今年度は 開設せず)	適 水質AA	適 水質A	可 水質B	可 水質C	不適
水質判定区分	可 水質B	適 水質A	適 水質AA	適 水質A	可 水質B	可 水質C	不適
油膜の有無 最小~最大(平均)	無 <sup>*1</sup> (無 <sup>*1</sup> )	無 <sup>*1</sup> (無 <sup>*1</sup> )	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*2</sup>	無 <sup>*2</sup>	有 <sup>*3</sup>
透明度(m) 最小~最大(平均)	1.0以上~1.0以上 (1.0以上)	1.0以上~1.0以上 (1.0以上)	1.0以上	1.0以上	0.5以上 1.0未満	0.5以上 1.0未満	0.5未満
ふん便性大腸菌群数 (個/100mL) 最小~最大(平均)	4~62 (20.2)	8~150 (54)	2未満	100以下	400以下	1,000 以下	1,000超
化学的酸素要求量 COD (mg/L) 最小~最大(平均)	2.9~4.7 (4.1)	1.6~2.4 (2.0)	2以下	2以下	5以下	8以下	8超
腸管出血性大腸菌 O157 ( /3,000mL)	不検出	不検出	—	—	—	—	—
pH 最小~最大	8.4~8.6	8.0~8.0	—	—	—	—	—

\*1:「認められない」、\*2:「常時は認められない」、\*3:「常時認められる」

(注) 判定については、水質評価する4項目(油膜の有無、透明度、ふん便性大腸菌群数、化学的酸素要求量)を用います。全ての項目が「適(水質AA)」の基準を満たす水浴場の判定は「適(水質AA)」となります。ただし、一つでも満たさない項目があると、その項目の基準を満たす区分が水浴場の判定となります。いずれかの項目が「不適」である水浴場を「不適」とします。



図 平成17年度~令和2年度 化学的酸素要求量(COD)の5月・7月の推移 R地点 午前

【 理化学検査研究課 環境化学担当、微生物検査研究課 細菌担当 】

# 横浜市感染症発生動向調査報告 8月

## 《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。
- 新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。
- 梅毒の報告がやや多めです。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈8月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	9件	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4件
A型肝炎	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
レジオネラ症	4件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
アメーバ赤痢	4件	梅毒	17件
ウイルス性肝炎	1件	-	-

- 1 腸管出血性大腸菌感染症:9件の報告(O91が1件(無症状病原体保有者)、O26が2件(うち無症状病原体保有者が1件)、O103が3件(うち無症状病原体保有者が1件)、O128が1件(無症状病原体保有者)、O血清群不明が2件(うち無症状病原体保有者が1件))がありました。
- 2 A型肝炎:1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 3 レジオネラ症:肺炎型3件、ポンティアック熱型1件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 4 アメーバ赤痢:腸管アメーバ症の報告が3件、腸管および腸管外アメーバ症の報告が1件ありました。いずれも感染経路等不明です。
- 5 ウイルス性肝炎:B型肝炎の報告が1件ありました。異性間性的接触による感染が推定されています。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:4件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 7 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:L群1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 8 侵襲性肺炎球菌感染症:70歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)、10歳未満の報告が1件(ワクチン接種歴3回有)ありました。いずれも感染経路等不明です。
- 9 梅毒:無症状病原体保有者6件、早期顕症梅毒Ⅰ期7件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件、晩期顕症梅毒1件の報告がありました。性別は男性15件、女性2件、推定感染経路は異性間性的接触11件、同性間性的接触が2件、感染経路等不明が4件でした。

### ◇ 指定感染症

新型コロナウイルス感染症の報告数は神奈川県にて集約されています。  
神奈川県衛生研究所ホームページをご参照ください。

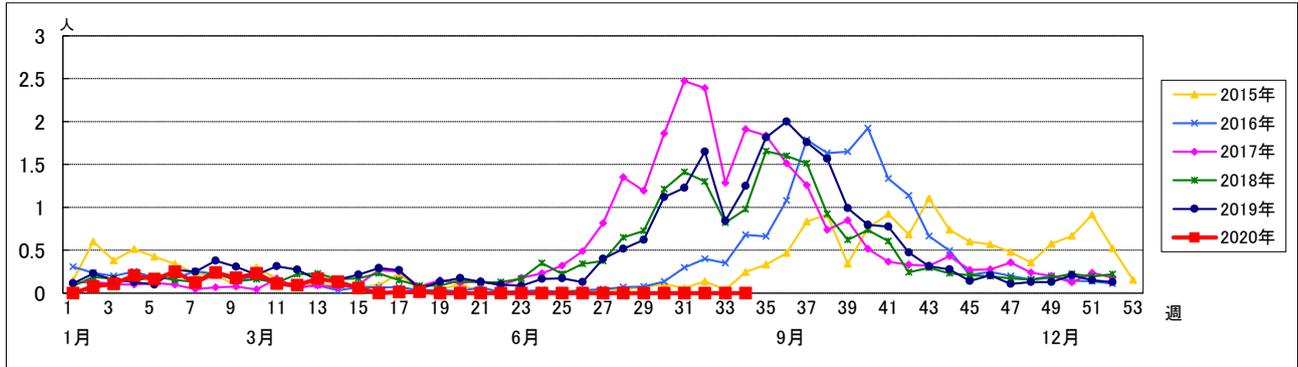
神奈川県衛生研究所感染症情報センター

[http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003\\_center/03\\_center\\_main.htm](http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm)

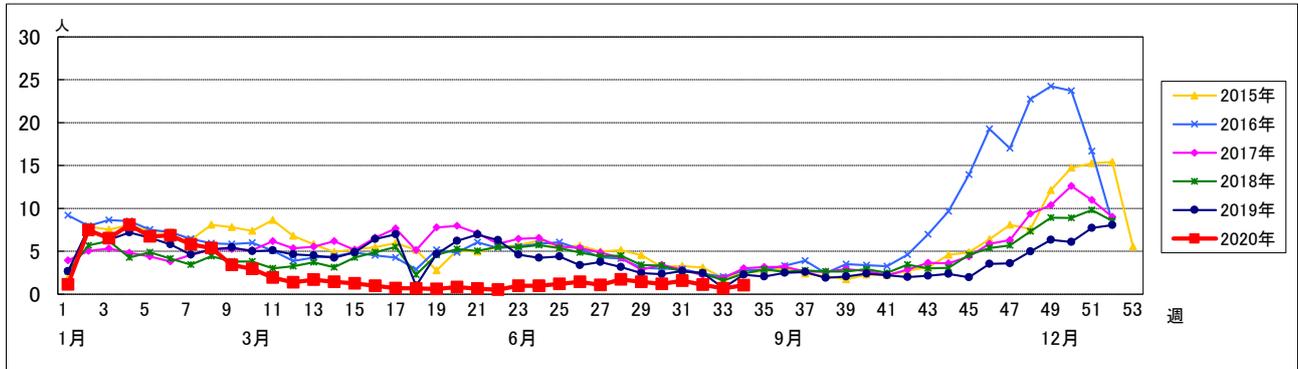
◇ 定点把握の対象:

報告週対応表	
第31週	7月27日～8月2日
第32週	8月3日～8月9日
第33週	8月10日～8月16日
第34週	8月17日～8月23日

1 RSウイルス感染症: 昨年はこの時期に多くの報告がみられていましたが、今年は、第34週で0.00です。



2 感染性胃腸炎: 例年より低めの報告数で推移していて、第34週は1.03となっています。



3 性感染症(7月)

性器クラミジア感染症	男性:17件	女性:23件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:7件	女性:7件
尖圭コンジローマ	男性:4件	女性:2件	淋菌感染症	男性:18件	女性:1件

4 基幹定点週報

	第31週	第32週	第33週	第34週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(7月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

7月27日から8月23日までに病原体定点から搬入された検体は、小児科定点17件、内科定点1件、基幹定点0件、眼科定点2件で、定点外医療機関からは3件でした。

ライノウイルス遺伝子9件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果8月期(2020年第31週～第34週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上気道炎
ライノ	9
合計	9

上段:ウイルス分離数      下段:遺伝子検出数

## 〈細菌検査〉

8月期(2020年第31週～2020年第34週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点から腸管出血性大腸菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、サルモネラ属菌4件、非定点から腸管出血性大腸菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、過粘稠性肺炎桿菌1件、NTM(非結核性抗酸菌)1件の検査依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌9件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌4件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、保健所からレジオネラ5件の検査依頼がありました。小児科定点からは、溶血性レンサ球菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における病原体調査 (2020年第31週～第34週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
基幹定点	腸管出血性大腸菌	1	EHEC O103 : H- VT1 (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
	サルモネラ属菌	4	<i>Salmonella</i> Thompson (1)、 <i>Salmonella</i> Saintpaul (1)、 <i>Salmonella</i> Stanley (1)、 <i>Salmonella</i> Manhattan (1)	
	腸管出血性大腸菌	1	EHEC O145 : H- VT2 (1)	
医療機関	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Escherichia coli</i> (1)	
	過粘稠性肺炎桿菌	1	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)	
	NTM(非結核性抗酸菌)	1	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>abscessus</i> (1)	
	腸管出血性大腸菌	9	O157 : H7 VT2 (2)、O103 : H2 VT1 (2)、 O26 : H- VT1 (1)、O26 : H11 VT1 (1)、 O91 : H21 VT1 VT2 (1)、O128 VT1 VT2 (1)、 OUT : H4 VT1 VT2 (1)	
保健所	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	4	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (1)、 <i>Citrobacter braakii</i> (1)、 <i>Serratia marcescens</i> (1)	
	分離同定	材料	項目	検体数
保健所	喀痰	レジオネラ	5	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)、不検出 (4)
小児サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	溶血性レンサ球菌	1	不検出 (1)	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】

# 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、令和2年8月のアクセス件数、アクセス順位、電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については市民局広報課から提供されたデータを基に集計しました。また、令和2年2月の集計より、新Webアクセス解析システム「Matomo」による集計となります。

## 1 利用状況

### (1) アクセス件数

令和2年8月の総アクセス数は、399,391件でした。前月に比べ約10%増加しました。主な内訳は、横浜市感染症情報センター\*181.2%、保健情報8.8%、検査情報月報3.2%、食品衛生1.6%、生活環境衛生1.3%、薬事1.2%でした。

\*1 横浜市では、衛生研究所感染症・疫学情報課内に横浜市感染症情報センターを設置しており、横浜市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、これらを速やかに提供・公開しています。

### (2) アクセス順位

8月のアクセス順位(表1)を見ると、感染症に関する項目が、大半を占めています。

1位は、「横浜市感染症情報センタートップページ」、2位は、「ぎょう虫(蟯虫)症について」、3位は、「クロストリジウム-デフィシル感染症について」でした。6位には、「フルーツジュース(果汁)と下痢について」が入っています。

表1 令和2年8月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	横浜市感染症情報センタートップページ	220,043
2	ぎょう虫(蟯虫)症について	6,960
3	クロストリジウム-デフィシル感染症について	5,593
4	死亡率・致死率(致命率)・死亡割合について	4,766
5	トキソプラズマ症について	4,467
6	フルーツジュース(果汁)と下痢について	3,969
7	大麻(マリファナ)について	3,830
8	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	3,717
9	衛生研究所トップページ	3,254
10	サルモネラ感染症(食中毒)について	2,639

データ提供:市民局広報課

「横浜市感染症情報センタートップページ」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>

「ぎょう虫(蟯虫)症について」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/shikkan/ka/gyou1.html>

「クロストリジウム-デフィシル感染症について」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/shikkan/ka/clostridium1.html>

### (3) 電子メールによる問い合わせ

令和2年8月の問い合わせは、4件でした(表2)。

表2 令和2年8月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数
下痢について	1
リシン中毒について	1
肺炎球菌ワクチンについて	1
新型コロナウイルス感染症対策について	1

## 2 追加・更新記事

令和2年8月に追加・更新した主な記事は、7件でした(表3)。

表3 令和2年8月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
8月3日	熱中症情報(2020年8月3日)	掲載
	感染症に気をつけよう(8月号)	掲載
8月5日	横浜市における蚊媒介感染症のウイルス検査結果(速報版)	更新
8月11日	熱中症情報(2020年8月11日)	掲載
8月17日	熱中症情報(2020年8月17日)	掲載
8月20日	横浜市における蚊媒介感染症のウイルス検査結果(速報版)	更新
8月24日	熱中症情報(2020年8月24日)	掲載

【 感染症・疫学情報課 】